



現地調査及び整理にタブレットを活用した事例について紹介します

(1/2)

今回紹介する団体：国東市、水土里ネット大分

取組概要

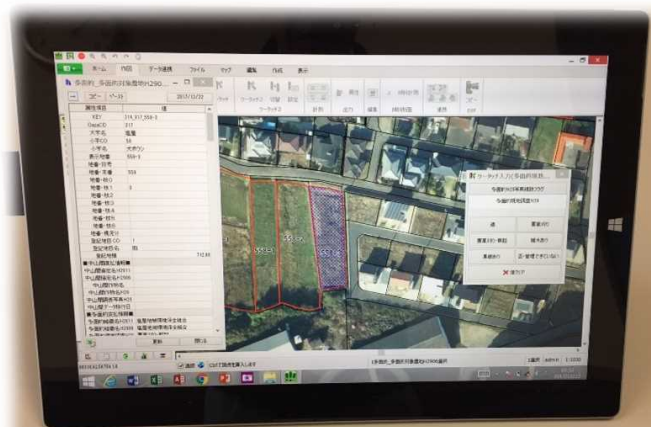
内容：県内では、10市町3団体が水土里モバイルタブレットを現地調査等に活用している。中でも、国東市においては、『多面的機能支払』に取り組む対象農用地約15,000筆の状況確認調査に活用。結果をその場で入力し、同時にタブレット背面カメラで状況写真を撮影、写真帳エクセルが自動作成できる機能を活用。調査後の整理作業を軽減するとともに、地域資源の適切な保全管理に資している。

- 経緯：① 紙図面での現地調査及び整理、デジカメで状況撮影、持ち帰りパソコンで調査結果整理・写真帳作成作業と煩雑であったため、効率化及び継続化が望まれた。
- ② システムを新たに導入するのではなく、既利用の水土里情報システムのモバイル機能を活用できないか検討。
- ③ タブレット（GPS機能付）に航空写真・対象農用地筆ポリゴン等を格納。現地調査を実施し、調査結果内容をタッチボタンで入力、本体背面カメラで写真を撮影することで、確認結果整理及び写真帳作成の効率化が図られた。

(システム構成)



(システム画面：拡大)



Windowsタブレットi7 (Win8.1、10) 64bit
メモリ8GB以上 SSD128GB以上 (Office)
BU-353S4 (GPS)

水土里情報モバイルタブレット画面



- 手順⑤（自動）**
- ・現地図面 → キャプチャ
 - ・現地写真 → ③撮影JPG
 - ・組織名等 → 筆格納データ
 - ・確認結果 → ②入力値を自動転記しエクセルファイル化

手順②
調査結果をタッチ

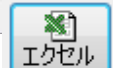
手順①→②→③を繰り返すだけ。現地ではタッチパネルで操作で、調査結果を格納できます。



手順③
背面カメラで状況撮影



手順④
調査結果一覧表示から写真帳エクセルを自動で作成



期待される効果

- ① 調査用紙図面の準備が不要となり印刷コスト・労力経費節減。
- ② タブレット及びGPSにより迅速な調査箇所把握と調査記録の効率化
- ③ 電子データ化による継続的な情報管理と把握、資料作成

今後の活用予定

同様の現地調査利用により、作業効率の向上・経費節減が期待される。

GISシステムのバージョン情報

GISアプリ : 水土里Maps7.1 Ver.1.5.X(32bit/64bit)+Microsoft Office2013
GISエンジン: SIS7.1SR3 (32bit/64bit)

■お問い合わせ先
大分県土地改良事業団体連合会 総務部情報管理課 097-536-6631(代表)
農林水産省農村振興局整備部設計課計画調整室(愛宕、沖) 03-6744-2201(直通)